

# 災害の概況と推移

# 火 災

平成 28 年中に広島市消防局管内で発生した火災は 299 件で、これにより 5 人の死者と 54 人の負傷者が発生した。また、損害額は合計で 4 億 9,048 万 8 千円、建物の焼損面積は 3,358 m<sup>2</sup>であった。

火災種別で見ると、「建物火災」が 187 件で約 6 割を占めており、その損害額は損害額全体の約 97%となっている。

区 分	年 別	平成 28 年	平成 27 年	増 減
	火 災 件 数 (件)		299	305
	建 物 火 災	187 (62.5%)	198 (64.9%)	△11
	林 野 火 災	5 (1.7%)	5 (1.6%)	0
	車 両 火 災	33 (11.0%)	19 (6.2%)	14
	船 舶 火 災	1 (0.3%)	0 (0.0%)	1
	そ の 他 の 火 災	73 (24.4%)	83 (27.2%)	△10
損 害 額 (千円)		490,488	448,839	41,649
建 物 焼 損 面 積 (m <sup>2</sup> )		3,358	5,188	△1,830
林 野 焼 損 面 積 (a)		45	9	36
死 者 (人)		5	20	△15
負 傷 者 (人)		54	64	△10

## 過去 10 年間の火災件数等の推移

年 別	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年
火 災 件 数	543	548	506	514	479	395	420	378	305	299
損 害 額 (10 万円)	8,176	10,158	8,140	6,003	5,163	4,940	7,898	6,359	4,488	4,905
建 物 焼 損 面 積 (m <sup>2</sup> )	8,451	5,654	8,326	5,545	5,804	3,953	7,311	5,700	5,188	3,358
死 者 (人)	14	16	13	12	11	12	9	30	20	5
負 傷 者 (人)	84	96	65	62	55	60	50	65	64	54

注) 平成 19 年は、直轄・受託地区の 1～3 月分を含む。

平成 28 年中の火災を出火原因別にみると、「放火・放火の疑い」が 58 件（19.4%）で最も多く、次いで「たばこ」が 47 件（15.7%）、「こんろ」が 38 件（12.7%）となっている。

出火原因の推移をみると、「放火・放火の疑い」による火災は、昭和 61 年から平成 25 年まで 29 年連続で出火原因の第 1 位となっていたが、平成 26 年は出火原因の第 2 位となった。しかし、平成 27 年から「放火・放火の疑い」による火災が再び出火原因の第 1 位となっている。

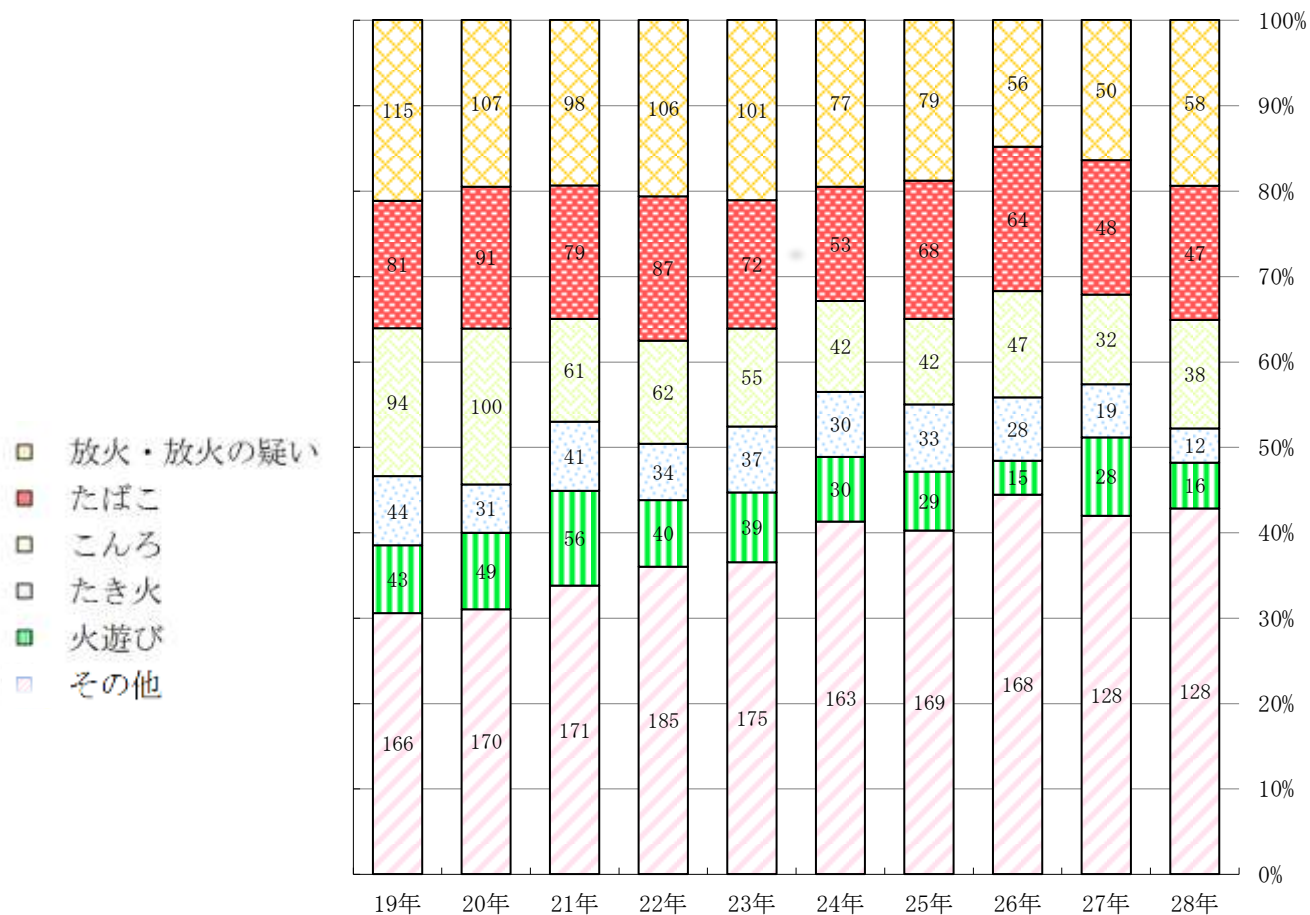
### 出火原因別火災件数

（平成 28 年）

区分	総数	放火・放火の疑い	たばこ	こんろ	火遊び	たき火	その他
件数	299	58	47	38	16	12	128
構成比	100%	19.4%	15.7%	12.7%	5.4%	4.0%	42.8%

### 過去 10 年間の火災原因の構成比

単位：件



注) 平成 19 年は、直轄・受託地区の 1~3 月分を含む。

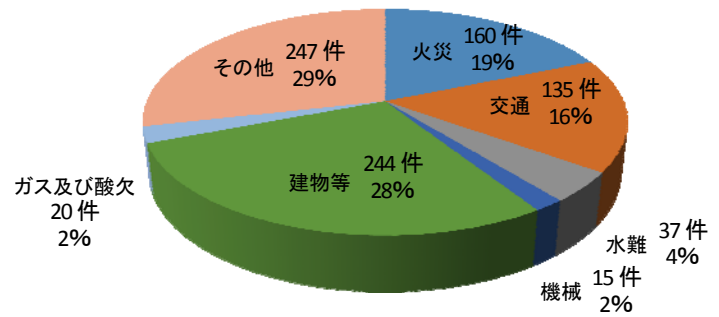
# 救 助

平成 28 年中の広島市消防局管内の救助件数は、858 件で、前年の 884 件と比較して 26 件の減少となった。

件数の内訳は、建物内への閉じ込めなどが該当する「建物等による事故」が 244 件で、全体の 28% を占め、続いて「火災」が 160 件(19%)、「交通事故」が 135 件(16%)となっている。

過去 10 年間の推移をみると、「建物等による事故」は増加傾向にあるのに対し、「火災」及び「交通事故」は減少傾向にある。

## 平成28年中の救助件数



## 過去 10 年間の救助件数の推移

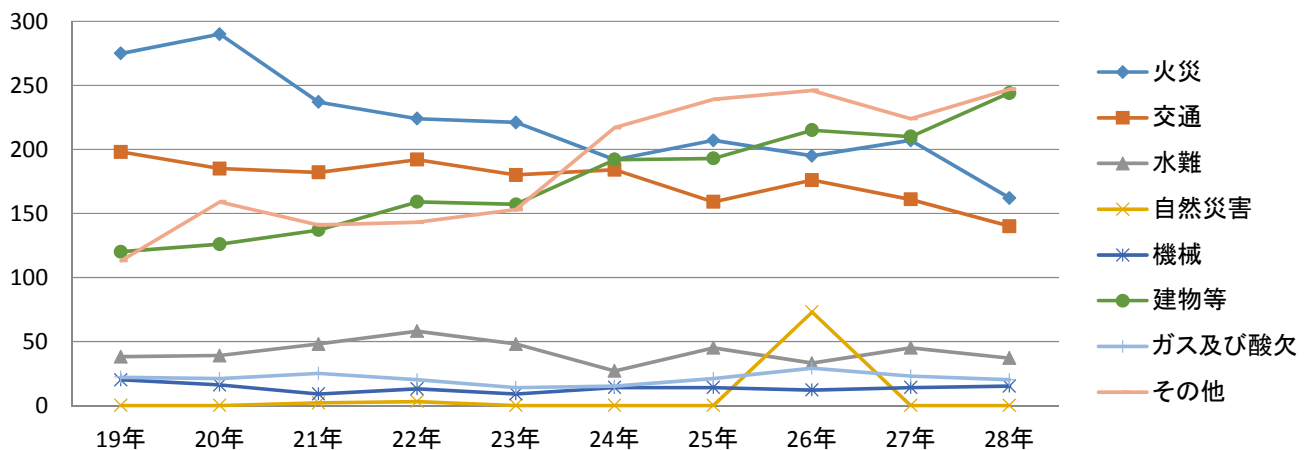
単位:件

区分	年別	平成 19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年
内 訳	救 助 件 数	786 (100)	836 (106)	781 (99)	812 (103)	782 (99)	841 (107)	878 (112)	979 (125)	884 (112)	858 (109)
	火 災	275 (100)	290 (105)	237 (86)	224 (81)	221 (80)	192 (70)	207 (75)	195 (71)	207 (75)	160 (58)
	交 通 事 故	198 (100)	185 (93)	182 (92)	192 (97)	180 (91)	184 (93)	159 (80)	176 (89)	161 (81)	135 (68)
	水 難 事 故	38 (100)	39 (103)	48 (126)	58 (153)	48 (126)	27 (71)	45 (118)	33 (87)	45 (118)	37 (97)
	風 水 害 等 自 然 災 害	0 (-)	0 (-)	2 (-)	3 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	73 (-)	0 (-)	0 (-)
	機 械 による 事 故	20 (100)	16 (80)	9 (45)	13 (65)	9 (45)	14 (70)	14 (70)	12 (60)	14 (70)	15 (75)
	建 物 等 による 事 故	120 (100)	126 (105)	137 (114)	159 (133)	157 (131)	192 (160)	193 (161)	215 (179)	210 (175)	244 (203)
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	22 (100)	21 (95)	25 (114)	20 (91)	14 (64)	15 (68)	21 (95)	29 (132)	23 (105)	20 (91)
	そ の 他 の 事 故	113 (100)	159 (141)	141 (125)	143 (127)	153 (135)	217 (192)	239 (212)	246 (218)	224 (198)	247 (219)

1 消防事務受託地区の件数を含む。

2 ( )内は、平成 19 年の件数を指数 100 として表した数値である。

## 救助件数(内訳)の推移



## 救 急

平成 28 年中の救急出動件数は 57,978 件で、前年と比較すると 232 件(0.4%)増加し、搬送人員は 49,115 人で、412 人(0.8%)の増加であった。これを 1 日に平均すると約 158 件出動し、約 134 人搬送したこととなり、約 9 分に 1 件の割合で救急出動要請がされたこととなる。

事故種別でみると、「急病」が 35,215 件で最も多く、全体の約 6 割を占めており、前年と比較して 1,850 件の増加となった。次いで多いのは「一般負傷」で 8,257 件、次いで「交通事故」の 5,653 件となっている。前年と比較して「一般負傷」は増減なし、「交通事故」は 189 件の減少となっている。

平成 12 年 4 月 1 日からはヘリコプターによる救急搬送業務を開始しており、平成 27 年中は 49 件救急出動し、26 人の搬送を行っている。

年別 区分	平成 28 年	平成 27 年	増減	増減率
出動件数(件)	57,978 (100.0%)	57,746 (100.0%)	232	0.4%
急病	35,733 (61.6%)	35,215 (61.0%)	518	1.5%
一般負傷	8,458 (14.6%)	8,257 (14.3%)	201	2.4%
交通事故	5,420 (9.4%)	5,653 (9.8%)	△233	△4.1%
転院搬送	5,160 (8.9%)	5,332 (9.2%)	△172	△3.2%
自損行為	507 (0.9%)	606 (1.0%)	△99	△16.3%
運動競技	346 (0.6%)	373 (0.6%)	△27	△7.2%
労災	396 (0.7%)	402 (0.7%)	△6	△1.5%
その他	1,958 (3.4%)	1,908 (3.4%)	50	2.6%
搬送人員(人)	49,115	48,703	412	0.8%

※ 割合は小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

### 過去 10 年間の救急件数の推移

年別 区分	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年
出動件数(件)	50,288 (100)	48,048 (96)	48,189 (96)	51,565 (103)	52,616 (105)	53,500 (106)	55,448 (110)	56,045 (111)	57,746 (115)	57,978 (115)
急病	28,699 (100)	27,250 (95)	27,572 (96)	29,894 (104)	30,928 (108)	31,545 (110)	32,856 (114)	33,365 (116)	35,215 (123)	35,733 (125)
一般負傷	6,738 (100)	6,720 (100)	6,409 (95)	7,119 (106)	7,346 (109)	7,655 (114)	7,972 (118)	8,257 (123)	8,257 (123)	8,458 (126)
交通事故	6,738 (100)	6,154 (91)	6,209 (92)	6,263 (93)	6,200 (92)	6,041 (90)	6,202 (92)	5,842 (87)	5,653 (84)	5,420 (80)

備考

1 ( )内は平成 19 年を指数 100 として表した数値である。

2 平成 19 年(1 月～3 月含む。)は、消防事務受託市町の件数を含む。